

松風平和

令和4年度

那覇市立松島中学校

学校便り [No. 8]

令和4年5月24日(火)

発行責任者 校長 喜屋武浩司

「3年:薬物乱用防止講演会を実施！」

去る5月20日(金)に、3学年を対象に「薬物乱用防止講演会」を実施しました。講師は、前回同様、沖縄県警察本部少年サポートセンターから宮城栄一郎氏をお招きしました。まず最初に、法律で未成年に禁止されている飲酒や喫煙による体への影響などに触れ、成人年齢が18歳に引き下げられても、飲酒や喫煙はこれまでどおり20歳からであることを確認しました。

次に、薬物の種類(覚醒剤、大麻など)の紹介があり、それらの薬物がもたらす興奮作用、幻覚作用、抑制作用について詳しく説明がありました。これは、薬物乱用で脳が破壊されている結果であることや、薬物中毒者の実際の映像を見て、薬物の恐ろしさを知ることができました。沖縄県内でも、高校生が検挙される事案が増えているということで、中学生にも身近に迫っている危険を自己回避できるために、正しい判断・正しい行動をすることの大切さを教えていただきました。最後に、生徒を代表して1組の上地由奈さんがお礼の言葉を述べてくれました。次回は6月24日(金)に、2年生を対象に「少年犯罪防止講演会」を予定しています。



「1年総合で「洋服から考えるSDGs」を実践！」

去る5月20日(金)に1学年総合的な学習の時間の学習として、みだしの講演会と実践体験を行いました。昔から「衣・食・住」と言われるように、私たちの生活に欠かせない洋服について、地球環境や持続可能な活動について考える学習です。

まず、洋服が何からできているかを考え、天然繊維は自然からできたものなので、土に還すことができること、また、綿100%のTシャツ一枚が一生のうちに3.4kgのCO2を排出量することを学びました。詳細は次の通りです。

- ①一枚のTシャツの綿花を育てるのに大量の「水」という資源を使っている。
- ②船やトラックで輸送するために電気を使ってCO2を排出している。
- ③Tシャツを洗う洗濯機を動かすための電気代(約25回分)等々...

苗植え活動では、右のコーヒー豆の麻袋を再利用したプランターにバタフライピー・ゴーヤー苗・百日草を植えました。

(※麻袋は外国から輸入されてきたもの)

「コーヒー豆の麻袋を再利用したプランターは初めて見ました。これがSDGsに繋がると知って、もっとモノを大切にしようと思いました。」(1-2新本双葉さん感想)
これからも「持続可能な社会の創り手」として様々な事に関心を持って下さい。



【QABの取材も受けました】

